

Bluetooth赤外線放射温度計 スマートフォン用 発熱計アプリ 取扱説明書 P1



初回に表示されるイントロダクションをスワイプして [完了して次へ] ボタンを押してください。利用規約画面が表示されます。

利用規約をお読みいただき、同意項目にチェックをして、[同意してはじめる] ボタンを押してください。



温度タブ画面が表示されます。スマートフォンのBluetoothを有効にして、発熱計デバイスの電源を入れてください。

その後、[デバイススキャン] ボタンを押してください。



デバイススキャン画面が表示されます。しばらくすると、発熱計デバイスのデバイスID (英数字4桁) が表示されます。(数分かかる場合があります)

表示されたら [接続する] ボタンを押してください。



「デバイスを待機しています」と表示され、デバイスとの接続を開始します。(数分かかる場合があります)



デバイスと接続すると、「準備中」となり、デバイスとの通信をはじめます。(数分かかる場合があります)



準備が完了すると、温度表示されます。

初回起動時は、温度が「--.°C」となっています。また、測定間隔「自動10分」、高温設定「38.0°C」、データ期間が最近7日間、グラフ表示範囲が12時間に設定されています。(グラフ表示は横スクロールができます)



発熱計デバイスを手首内側に付けてください。乳児等でベルトサイズが大きい場合は、足首に取り付けて、上から緩めの靴下をはかせてみてください。

[+] ボタンを押すと、現在の温度を測定します。(手動測定)



温度の背景色は、37.0°C未満はブルー、37.0°C以上ではオレンジ、38.0°C以上では赤く表示されます。

温度が高温設定以上になると、通知音、バイブ、ボイス、で警告を通知します。(警告設定タブで変更できます)



[警告設定] タブを押すと現在の設定が表示され、変更が可能です。

発熱計デバイスでの測定温度が、家庭用体温計の温度と大きく差がある場合には、温度補正スライダでアプリの温度を補正できます。(発熱計デバイス自体の補正はできません)





高温警告通知の際、離れたところにいる人(家族等)のスマートフォンにも、自動で高温警告のリモート通知を送ることができます。

利用するには、通知を送る側、通知を受け取る側のそれぞれでアカウント登録をする必要があります。

[連絡先] タブを押すと、登録・ログイン画面が表示されます。

メールアドレスとパスワードを入力して [アカウント新規登録] ボタンを押します。入力したメールアドレスに確認メールが送られます。

メールアプリを開いて、firebaseapp.com から「メールアドレスの確認」メールが届くのを待ちます。

メールが届いたら、メール本文にあるリンクをクリックして、確認を完了してください。

確認完了後、発熱計アプリに戻り、登録・ログイン画面で [ログイン] ボタンを押します。

ログインが成功すると、連絡先画面が表示されます。

通知を受け取る側で、[QRを表示] ボタンを押してQRコードを表示します。

通知を送る側で、[QRで追加] ボタンを押してQRコードを読み取ります。読み取って名前を入力すると連絡先に追加されます。(読み取った側の連絡先のみ追加されます)



発熱計アプリの
無料ダウンロードは
こちらから



<https://ha2ne2.com/download/>

対応スマートフォン

- ・ iPhone iOS 13 以降
- ・ Android 9 以降
- ※Bluetooth 4.0LEに対応したもの
- ※2022年4月現在

画面左上の [≡] ボタンを押すと左側のドロワーが開きます。ログイン状態はここで確認することができます。 [×] ボタンを押すとドロワーが閉じます。

最新アプリの使い方については、ヘッダの [?] ボタンか、ドロワー内の [使い方・ヘルプ] ボタンを押してください。

[非常時] タブを押すと、非常時連絡先画面が開きます。

非常時の無料相談ダイヤルの連絡先が表示されます。

現在の掲載内容

- ・ 子ども医療でんわ相談
- ・ 救急安心センター
- ・ 救急車を呼ぶ (119番)
- ・ 休日夜間急患センター検索

電話をするときは、非常時連絡先の [かける] ボタンを押すと、簡単に電話をかけることができます。

